

ふりがな 氏名	なかはら よしむね 中原 由棟	都道府県 東京都	/
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回謝謝台湾活動実行委員会 運営幹部 ・大学院生 		
私のESD活動	台湾での野外イベントを通じて、東北復興の現状や震災時に台湾人から受けた支援への感謝を伝えている		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、台湾に交換留学中に、東北復興の現状や震災時に台湾人から受けた多大なる義捐金に対する謝意を表すためのイベントを開催するための学生団体である「第五回謝謝台湾活動実行委員会」で幹部として活動しておりました。弊団体は2016年でちょうど5年目を迎える団体です。

第五回の具体的な主な活動としては、①東北現状報告②被災者による講演③折鶴日台絆シート作製があります。①東北現状報告に関しては、イベント前、我々メンバーの一部が自ら東北を訪れ、自分の目で東北の現状を確認し、台湾の支援がどういった形で東北に届いているのか、そこで見たもの、感じたものを当日イベントの来場者に写真や文章で伝えました。実際、被災した南三陸町の病院が台湾の義援金22億円で復旧されました。

②被災者による講演に関して、被災者が台湾に感謝を伝えるため、震災当時の実体験、感謝の想いを来場者の皆様に伝えました。例えば、震災後に出版された「震災に関する絵本」の読み聞かせを通して、減災と防災、そして家族の大切さを知ってもらいました。

そして、特に私が先駆的なものとするのは、③折鶴日台絆シート作製であります。それは、イベント当日、来場者の方に東北への応援メッセージを書いた折り鶴を制作し、それらを日台の地図がハートの絆で結ばれているシートの上に貼ってもらい「絆シート」を作る活動を行いました。

成果としては、アンケート結果からも分かるのが、多くの来場者に東北の現状を知ってもらえたと同時に我々日本人の謝意を台湾にいる皆様に伝えられたと思います。更には、NHKなどの日系メディアや中央通信社などの中華系メディアでも我々の活動が言及されました。

○「日台・心の絆」謝謝台湾 Facebook」 <https://www.facebook.com/arigatoutaiwan/>

○「第5回謝謝台湾！日台・心の絆 感謝動画」 <https://www.youtube.com/watch?v=tpbHc2PkSjk&feature=youtu.be>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

今後の展開活動としては、第一に、次世代へのバトンタッチである。上記の学生団体の第六期生に、きちんと我々第五回時の活動の内容、工夫、成功、失敗した点、そして反省点などを共有して、次世代に良い形でバトンタッチを行い、繋げた後も私はOBとして、彼ら彼女らの活動に今後ともアドバイスをやりたいと考える。一方で、これに関連して、留学中に知り合った日本で台湾と震災をテーマとして活動している方と知り合う機会があったので、その方達などと協力して、防災の重要性の普及について取り組みたいと考える。

第二に、農業をテーマにして、東北復興に少しでも貢献したいと考える。具体的には、東北の特産物の美味しさと、特に安全性を世界に発信したい。なぜならば、世界では特に被災地県からの農産物に対する輸入規制が今だに厳しいが、私はそれは風評被害が大きく影響していると考えからである。従って、まずは日本への発信として、友達が所属している東北の名産物の紹介を通じて東北の農産物の安全性を伝えるグループに参画したいと考えている。

第三に、私は現在、卒業後に教育学の修士課程に進み、農業と教育を通じた地域活性化を研究したいと考えている。というのは、防災機能を含む多面的機能を有し、そして地域振興に密接な農業では、現在、農業者数の減少・高齢化が進み、その解決方法として、教育という新たなアプローチから取り組みたいと考えるからである。